



# 多鹿会計事務所

<a href="#">HOME</a>	<a href="#">経営相談</a>	<a href="#">業務内容</a>	<a href="#">インフォメーション</a>	<a href="#">事務所案内</a>	<a href="#">リンク集</a>	<a href="#">お問い合わせ</a>
----------------------	----------------------	----------------------	---------------------------	-----------------------	----------------------	------------------------

平成20年12月23日

## 商品が何であるかは顧客が決める！…クリネックスティッシュ

今日は、天皇誕生日…75歳になりました。

[「天皇陛下のお誕生日に際してのご感想とこの1年のご動静」](#)  
…上記をクリックしてください。宮内庁のホームページをご覧ください。



## 会社や商品が何であるかを決めるのは、顧客であり、市場である！

ティッシュペーパーは元々化粧落としのために売り出された商品でした。ところが実際には鼻をかんだり、汚れをふき取ったりするのにも使われていることを知り、改めて鼻かみ用として売り出しヒットしたそうです。

- 第一次世界大戦中、脱脂綿の代用品としてティッシュペーパーが開発されました。さらに吸収力を高めたものがガスマスクのフィルターとして使用されていました。
- 1924年、第一次世界大戦が終了した後、ティッシュペーパーは過剰に在庫が余り、アメリカのキンバリー・クラーク社が化粧落とし用として「クリネックスティッシュ」を発売。1930年代に入って「使い捨てのできるハンカチ」として市場に出されました。以降、アメリカでは「ティッシュペーパー＝クリネックス」という名前が定着しました。
- 日本では1953年に初めて発売され、国産は1963年十条キンバリーから発売されました。
- 日本人の年間使用量は一人当たり約4.5キロで世界一だそうです。平均的な一箱の内容量が約240グラムなので一人で一年間に19箱も使っていることになります。樹木に換算すると何本になるのでしょうか？…地球環境保護のために少しでも使用量を控えましょう！

## 日本の街頭でお馴染みのポケットティッシュの無料配布。

日本独特のものようです。そこで伊藤忠商事がアメリカで挑戦中です。ニューヨークで「吉野家」のサービスクーポン付きポケットティッシュを配ったところ、来店者数がチラシ配布のときよりも5倍以上の確立で増加。マンハッタンの「日本祭り」やラスベガスの大相撲巡業などでも実施、米国企業からの引き合いが来るようになったそうです。ひょっとすると、そう遠くない将来にはアメリカの街頭でもポケットティッシュが配布されている光景が日常的になるかも？

“自社の技術ではこんな製品ができる。これを売り出そう！”ではなく、“それを顧客が求めているのか、求めているものは何なのか？”、“既存の製品でも新たな用途・目的や使い方の提案、パッケージングの変更などで顧客の心を掴む”ということもあると言われています。上記のキンバリー・クラーク社も市場の需要をすばやく読み取り、「新しい鼻紙を使う人々」を作り出したこととなります。

当事務所も見習わなければ…。

明日はクリスマス・イヴ。  
毎日暗い話題ばかりが目につく師走となりましたが、クリスマスぐらいは家族そろって楽しく過ごしたいですね。  
今年の漢字は「変」、来年は変化・変革で全てを上向かせたいものですね。

過去一覽

過去の内容をご覧いただける方は左記のボタンをクリックして下さい。

多鹿会計事務所 所員 平戸

メール

お電話でのお問い合わせは平日午前9時～午後5時まで承っています。

多鹿会計事務所

〒675-1332 兵庫県小野市中町320-8 TEL 0794-62-5666 FAX 0794-64-2037

